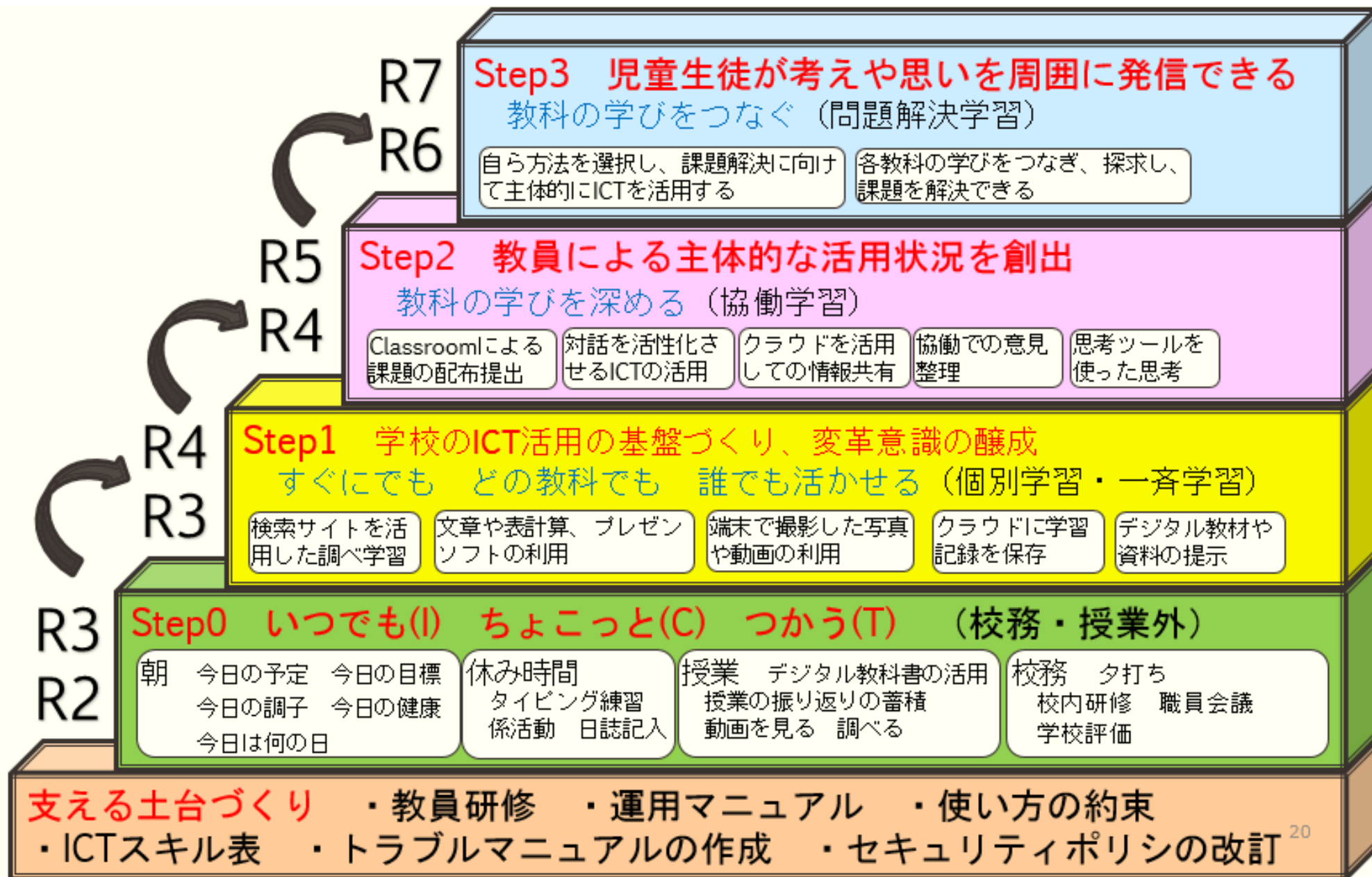
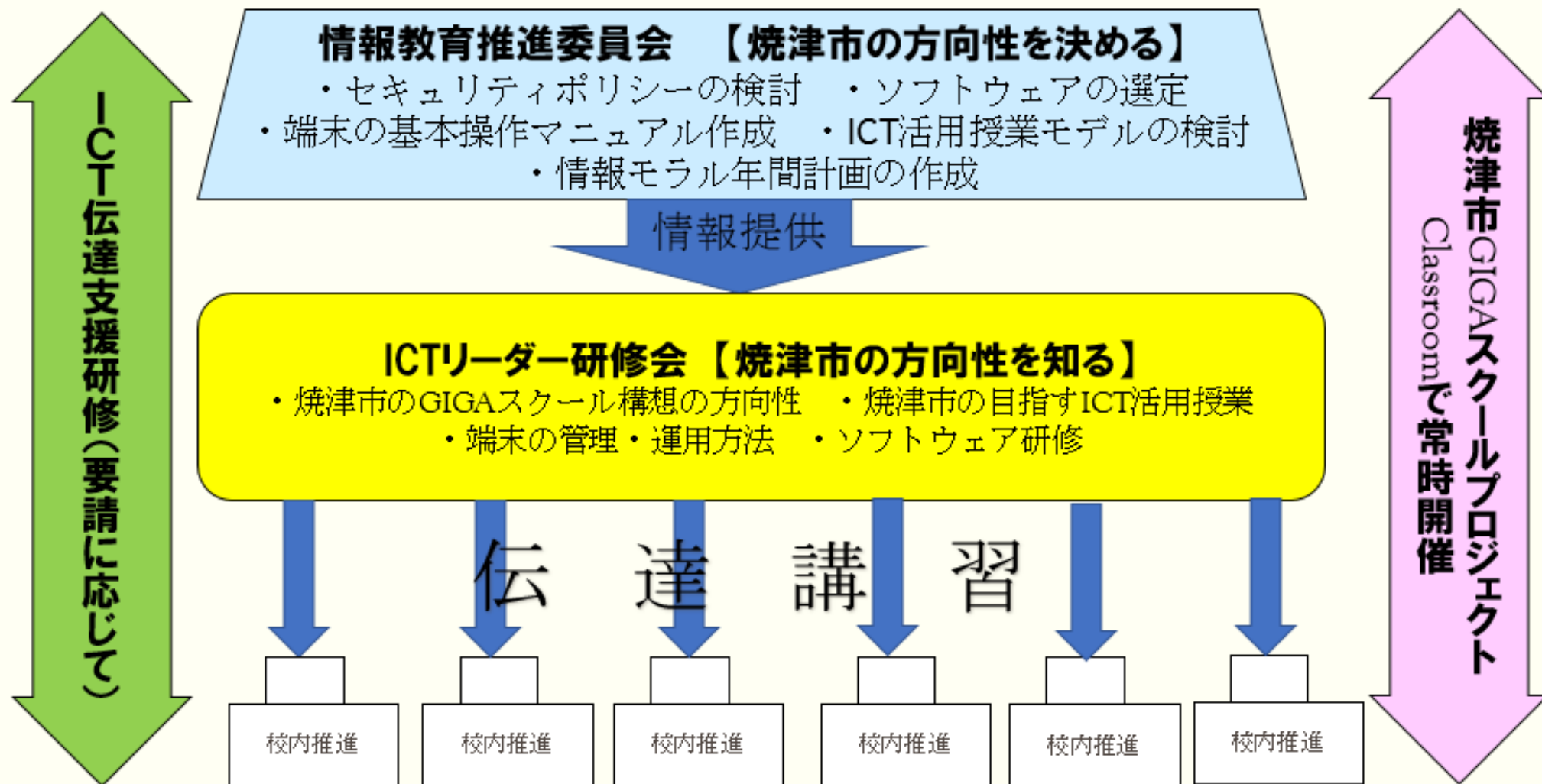


【別添資料1】 ICT の効果的な活用法

A 一斉学習	B 個別学習		C 協働学習	
<p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p>	<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p>		<p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学习において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p>	
<p><b>A1 教員による教材の提示</b></p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>	<p><b>B1 個に応じた学習</b></p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>	<p><b>B2 調査活動</b></p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	<p><b>C1 発表や話し合い</b></p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	<p><b>C2 協働での意見整理</b></p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p>
<p><b>B3 思考を深める学習</b></p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p><b>B4 表現・制作</b></p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p>	<p><b>B5 家庭学習</b></p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	<p><b>C3 協働制作</b></p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p>	<p><b>C4 学校の壁を越えた学習</b></p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>





目指す授業：「問題解決的な学習」の過程において、子供同士で学び合い、これからの社会で生きていくために必要な資質・能力を育むことができる授業

子供理解

- ・子供がどんな疑問をもち、どう学ぶのか、どう教材とかかわるのかを想像する。
- ・日々の授業でつかんだ子供の実態をもとに、単元を通して子供の学びの姿をイメージする。

教材研究

- ・育てたい「資質・能力」を明確にし、教科の系統性をおさえる。
- ・子供が教科等の「見方・考え方」を働かせている場面やその時の子供の姿をイメージする。

子供の学びの姿を具体的にイメージする

1 学習指導要領の目標や内容、指導事項に基づき、単元を見通した授業を構想する。

- ・学習指導要領と子供の実態から育てたい「資質・能力」をおさえる
- ・子供の思考の流れに沿った単元構想を検討する
- ・単元の評価規準をもとに「指導と評価」について検討する

子供自身が解決したい課題や問い

※ 学習の見通しをもつ

2 問題解決に向けて、目的に応じた必然性のある学習活動を設定する。

- ・考えるための材料の選択（資料 場の工夫 教師の声掛け）

子供に必然性のある学習活動

※ 自分の考えをもつ

「問いや考え」を持つ

協働対話

協働対話

「問いや考え」の再構成

※ 考えを深める

3 学習を振り返る場を設定する。

- ・「資質・能力」が身に付いたか伸びたか、目標の達成度を確認する

子供が変容を確認できる場

※ 単元や題材のまとまりにおける学びと自分の変容を自覚する

※ 新たな課題発見、解決への意欲をもつ

「学びの実感」を積み重ねる

★効果的なICTの活用（一人一台端末、電子黒板、実物投影機、デジタル教科書）

子供が自分ごととして学ぶ＝子供が主体となる授業

指導と評価の一体化

- ・個々の子供の学びを継続的に見取る
- ・個々の子供に適切な支援をする

形成的評価を大切にする

学習の土台づくり

- ・安心できる温かい人間関係
- ・学びに適した学習規律
- ・学びに集中できる学習環境